



## 安全運転PR～旗の波運動～

8月24日、村交通安全推進委員会と村交通安全協会の会員約40人が「スピードダウン」「シートベルト着用」などと書かれた黄色い旗を振り、ドライバーに交通安全を呼び掛けました。

J A新しのつ西井組合長は、「交通事故死ゼロ3000日は一つの通過点であり、今後も交通ルールを守って交通事故はもちろん農作業機械の事故にも注意してほしい。」とお話していました。

2007年7月13日から村内交通事故死ゼロを継続しており、9月29日に連続3000日を達成しました。

## 村長杯争奪パークゴルフ大会

9月14日、ふれあい公園パークゴルフ場で村パークゴルフ協会が主催する第10回村長杯争奪パークゴルフ大会が開催されました。本来は、13日に行われる予定でしたが、あいにくの雨で翌日に延期となりました。

開会式で村パークゴルフ協会の永森会長は「私たちのホームグラウンドであるこの素晴らしいコースでベストを尽くしてほしい。」とあいさつ。

東出村長は「雨で延期となったが、今日は雨の心配も無いので日頃の練習の成果を発揮してほしい。」とエールを送りました。



## 1年生現場実習

### ～自分の将来を考える～

9月9日から16日までの6日間、新高1学年66名が、村内や当別町、岩見沢市の事業所で現場実習を行いました。

この現場実習は、実際に職場で働くことを通して、働くことの大切さや厳しさに気づき、自分の卒業後の進路に関心を持つことを目的に行われています。

6日間の実習では、実習先の方々の暖かい支援を受けながら、自分の目標に向かって最後までやり遂げ、ひとまわり成長することができました。

## 新中生 村議会を傍聴

9月18日、新中3年生23人が、第3回村議会定例会最終日を傍聴しました。

これは、社会の授業の一環で、生徒が積極的にまちづくりに参加する姿勢を養うことを目指して行われました。

生徒は、メモを取りながら、討議に耳を傾けていました。

生徒会長の志賀丈一郎君は、「真剣に村のことを考えてくださり、一人の村民として嬉しいです。また、農業の村として、農家が減少していることについて私たち子どもたちも真剣に考えなければならないと感じました。」とお話してくれました。

